

敦賀美浜 ふるさと 紀行

超レア！SNSで注目を集めた

「4連おにぎり」道路標識

国道の重複区間に
4つの国道標識を設置

敦賀市内の交差点に、「4連おにぎり」と呼ばれる道路標識があるのをご存知でしょうか？これは縦に4つの国道番号が並んだ標識のことで、4本の国道が重複している区間に設置されています。国道番号を示す標識がおにぎりのような逆三角形をしていることから、標識愛好家の間では「4連おにぎり」という愛称で親しまれています。

この標識が設置されたのは、2019

年秋。国土交通省福井河川国道事務所の福島克章副所長は、「道路や標識に関心を持ってもらえたらという思いから、このような標識を設置しました」と話します。

8号の上に27号がある
「下克上」標識としても話題に

「4連おにぎり」があるのは、敦賀市岡山町1丁目交差点東側。ここから坂ノ下ランプまでの約1kmが4国道の重複区間となります。まず国道8号の混雑緩和のため敦賀バイパスが建設され、1989年に分岐点として坂ノ下ランプが作られました。同ランプはその後、国道27号と161号の起点、162号の終点になったことから4国道の「重複区間」が誕生したのです。

この標識は8号の上に27号が配置されているのも特徴です。通常は国道番号の小さいものが上になりますが、地域住民には27号のイメージが強く、起点であることも鑑み、あえて27号を一番上に配置。このような並び順は珍しく、愛好家の間では「下克上」と呼ばれています。

ツイッター公式アカウント
から広く拡散

「4連おにぎり」への注目が集まったのは、国土交通省福井河川国道事務所のツイッター公式アカウントへのつぶやき

坂ノ下ランプ北側の「3連おにぎり」標識。こちらは国道8号が一番上になり、27号、161号の下には「起点」と記されています。



4国道の位置関係は地図の通り。写真は国道8号から坂ノ下ランプに続く分岐点で、左に進んだところから「4連おにぎり」までの約1kmが4国道の重複区間となります。

がきっかけです。2020年6月17日の発信以降、注目を集め、広く拡散。2021年8月25日現在で724件のいいね、423件のリツイートを獲得しています。

福島副所長によると、全国の一般国道の総延長は約7万7000km、実延長は約6万7000kmで、約1万kmが重複区間となります。「4国道の重複区間は数少ないながらも他県にもありますが、4標識を設置しているのは全国でも珍しいのではないだろうか」といい、ツイッター上では、「見られて嬉しい」「気に入ったことがなかったけど、確かに珍しい」など様々な反響が上がっています。

国道27号、8号の
最新道路トピックス

「4連おにぎり」で注目を集めた国道

27号沿線には、来年7月に新たに道の駅「はまびより」がオープン予定です。美浜町と国交省とで整備する一体型の道の駅で、JR美浜駅に隣接。地域物産の直売所や子育て支援施設などが併設されます。

国道8号の敦賀市内では空間再整備を行い、昨年10月には氣比神宮前の元町交差点から白銀交差点の区間を2車線化。歩道を広げ、賑わい空間を創出する計画を進めています。また、防災や景観等の観点から、敦賀市鉄輪地区で無電柱化事業も進められています。

北陸新幹線開業を間近に控え、道路や景観が様変わりしていく敦賀美浜エリア。今後の話題にも注目です。

この記事に関するお問い合わせ
国土交通省近畿地方整備局
福井河川国道事務所

TEL 0776(35)2661(代)



「4連おにぎり」設置前の標識。比べると、4標識のインパクトがあるのがよくわかります。

上から国道27号、8号、161号、162号の順に4つの国道標識が並ぶ「4連おにぎり」。

